



第15回 猪苗代 新そば祭り

今年で15回目を迎えた「猪苗代新そば祭り」は11月12、13の両日、カメリーナで開かれました。猪苗代手打ちそばの会の名人たちが打ったつなぎなしの十割そばは、温かい「祝言そば」と冷たい「ざるそば」で振る舞われました。

県内外から訪れた4千人以上の来場者は、▽ひきたて▽打ちたて▽ゆでたて「3たて」の新そばに舌鼓を打ちました。

そばだけではなく「天ぷらの盛り合わせ」やそばがゆなども振る舞われ、その食材のほとんどは猪苗代産。来場者は、猪苗代の幸と猪苗代の元気をその舌で味わいました。

つないだ タスキ

1 アンカーを務めた遠藤康明選手(国士舘大4年)
2 1区で町の部区間賞を獲得した鈴木美姫選手(田村高2年) 3 4区半澤拓見選手(新潟大3年) から5区小川広選手(田村高1年)にリレー 4 レース終了後、ゴール前で記念写真 5 13区松崎政継選手から14区神汰輝選手(東中2年)にリレー



町の元気を 内外に発信



1 悪天候の中、多くのお客さんが会場を訪れた
2 そばまつりを支える名人たちの技
3 ひきたて、打ちたて、ゆでたてのそば
4 猪苗代のそばはおいしいから好き
5 ステージ上ではそば口上などが披露された

つなぎ無し 十割

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月20日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、96・2キロのコースで開かれました。

レースでは、第1区の鈴木美姫選手、13区の松崎政継選手が町の部区間賞を獲得したほか、全ての選手が粘り強い走りを見せました。県内49チーム、約750人が参加したこのレースで、猪苗代町チームは町の部2位、総合11位と過去最高の成績を上げました。

全力を出し切り、タスキをつないだ選手たちの頑張りは、町民に元気と勇気を与えました。

第23回 ふくしま 駅伝

